

東京兵庫県人会「ふるさとツアー」旅行記

●姫路駅から出発

今年の「ふるさとツアー」は旅行シーズンたけなわの9月29日(日)、30日(月)の一泊二日の行程で行われ、いそいそと参加しました。

今回は播磨を巡る旅です。姫路駅に集まったのは、男女4名ずつの総勢8名。腹が減ってはへとやら・・・と、バスは昼食会場に直行。「ホテル姫路プラザ」でたっぷりの釜めし定食をいただきました。

●姫路城へ

1983(昭和58)年開館の兵庫県立歴史博物館を一巡しました。特に印象に残ったのは、広いロビー一面に描かれた兵庫県の地図でした。今更ながら、兵庫県の大きさに認識を新たにしました。

いよいよ本日のハイライトである、姫路城へ。以前立ち寄ったときは、白鷺城と呼ばれる美しい天守閣に見惚れましたが、現在は修復工事中でお城の全容を見ることはできません。しかし、今回は一層興味ある見学コースがありました。エレベーターで最上階に上がると、修復中の天守閣の大屋根が間近に迫ってくるのです。本来なら地上から仰ぎ見る天守閣がそこにある機会は2度とないと思うと感激もひとしおでした。

お城から歩いて10分ほどの日本庭園「好古園」にも足を伸ばしました。忍者が現れそうな土塀道を通って、四季の草花が植えられている路地からお茶室へ。立ちっぱなし、歩きっぱなしだったメンバーは美味しい和菓子と一服の抹茶にホッと一息です。お運びをしてくださった小学6年生のお嬢さんが着物姿で一生懸命お稽古に励んでいる様子も微笑ましく和やかなひと時が流れました。

●塩田温泉

一路本日のお宿「塩田温泉 夢乃井」へ。塩田温泉は播磨の奥座敷として知られていますが、静かな田園の中にある2軒の宿だけが残っていて、西国三十三所の巡礼宿としての役割も担っているようです。一同美味しい夕食とともに懇親を深め、温泉、カラオケで明日への英気を養い就寝。

●天空の城「竹田城跡」

一夜明けてまた晴天です。一行は全員晴れ男、晴れ

女のように元気に出発しました。目指すは、日本のマチュピチュ、天空の城といわれて最近人気急上昇中の「竹田城跡」に向かいました。本日までが入城料無料という幸運に恵まれ足取りも軽く登り始めました。ところが、だんだん散策どころかハイキングの様相を呈し、入口で借りた杖が頼りとなりました。天空の石垣群に到達し、眼下360度の眺望の素晴らしさに目を奪われ、心地よい微風に身を委ねました。

標高は353.7mながら孤高の城に先人はどうやって大きな石を運んだのでしょうか。ここは別名虎伏城と呼ばれ国の史跡に指定されています。何より、しばしば足元の円山川の川霧により霞むことから天空の城の異名を持ち、雲海に浮かぶ古城が名物になっています。

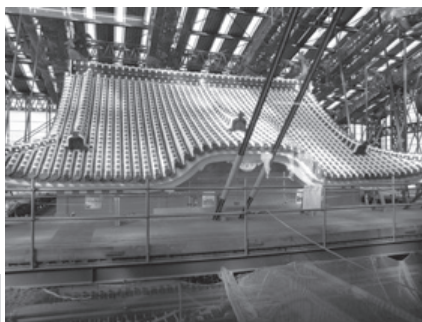
竹田城跡は映画「あなたへ」の天空のコンサートでのシーンに使われ、2014年のNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」のロケも行われたそうです。登ってよかった、と心から思いました。

●書寫山圓教寺

ツアー最後の目的地「圓教寺」へ向かいました。書寫山ロープウェイで山上駅へ。山全体が「書寫山圓教寺」となっています。「圓教寺」は天台宗の別格本山で「西の比叡山」と呼ばれるほど寺格が高い巨刹。京都から遠いにもかかわらず皇族や貴族の信仰が篤く、多くの天皇・法皇が訪れたそうです。私たちも興ならぬマイクロバスに乗って山内を移動させていただきました。竹田城跡で沢山歩いたメンバーにとってありがたいお心遣いでした。壽量院での揚げたての野菜天ぷらをはじめとした精進料理に舌鼓を打った後、大講堂・食堂・常行堂参拝の後は写経も体験でき、心が静まりました。映画「ラストサムライ」などのロケ地としても有名です。

こうして姫路を出発し、播磨を巡ったふるさとツアー、どこもかしこも感動の2日間でした。水も漏らさぬ完璧な企画・準備をしてくださいました幹事、またツアーガイドも羨むほど詳しく明快な説明をしてくださりましたご担当の方々、楽しいご同行の皆さま、心からお礼申し上げます。次回の「ふるさとツアー」が楽しみです。ありがとうございました。

乗松 和子(県人会会員)



姫路城天守



竹田城にて



圓教寺写経